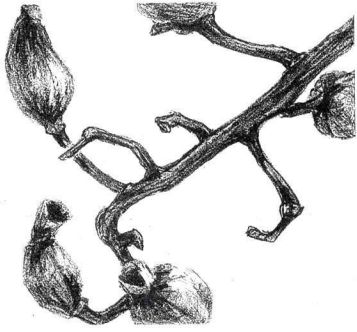


歌壇 俳壇



日高理恵子 (ゲットウII)

馬場あき子選

新変異株の名前が「エリス」とは草葉の陰の... (五所川原市) 戸沢大二郎... (小美玉市) 津嶋 修... (松山市) 宇都宮朋子... (京都市) 後藤 正樹

【評】第一首、コロナの新変異株の名「エリス」は、奇しくも「舞姫」の主人公の恋人の名。...

佐佐木幸綱選

もういない爺さんの笑う声がする祖母の居室... (さいたま市) 松田 典子... (長崎市) 田中 正和... (八戸市) 夏木 良

【評】第一首、もう亡くなったはずの夫の笑い声が聞こえる祖母の部屋。「陣どる鶏」の迫力。...

高野公彦選

大き串口より刺され強き火にあぶられながら... (富山市) 松田 わこ... (富山市) 岡 純... (東京市) 浅倉 修

【評】一首目、結句まで読んで衝撃を受ける作。二首目、産卵のため川を下るのを「落ち鮎」と呼ぶのは失礼だ、と。...

永田和宏選

「寺務所迄連絡求ム」墓石に吊るすA4また... (東京市) 浅倉 修... (東京市) 岡 純... (東京市) 浅倉 修

【評】浅倉さん、墓の管理に手が回らない親族が多くなり、無縁墓となる墓が全国的に増加している。...

うたをよむ 孫娘と祖父の十七音

朝日俳壇に21句が入選している千葉県成田市の小学4年生かとうゆみさんが、やはり入選常連の祖父で茨城県日立市に住む加藤宙さんと共著「六歳の俳句孫娘とじっちゃん」の十七音日記「(光文社)を出した。

ゆみさんが俳句に出会ったのは六歳のとき。宙さんの2013年「朝日俳壇賞」受賞句「微笑みに虹を残して子の眠る」が、生まれたばかりのゆみさんのことを詠んだ作品だと知った。二緒に俳句を作りたたい!

その後、次のような句も紙面に掲載された。「九人に一人うえるお正月」委員長にえらばれましたはつがつお

初入選は21年1月24日の紙面、小学1年生だった。くくどうにぞうきんみたいなためきかな。高山れおな選者は「交通事故死した狸。比喩が率直的確。作者は七歳」と選評を付けた。この年の8月8日の紙面では「ゆっくりと見たり聞いたりカタツムリ」が高山選と長谷川權選で入選。同日の紙面には、宙さんの「山ひとつ海に流して梅雨明け」が長谷川選で載った。

記者サロン「歌人・科学者 永田和宏さん×AI短歌」永田和宏さんを迎え、AIを使いながら歌や創作について語る催しを28日(土)に朝日新聞東京本社で開きます。会場では連歌にも挑戦。定員は120人(抽選)。11月2日から12月25日までオンラインでも視聴可能。申し込みは募集ページ (http://t.asahi.com/wn7z) またはQRコードから。



☆印は共選作。掲載作は記事への引用や、電子メディアやSNSへの掲載・収録をすることがあります。投稿は無地のほかは1枚に1作品、未発表の自作のみ。作品の横に住所、氏名、電話番号を明記。〒104・8661 晴海郵便局私書箱300、短歌は「朝日歌壇」、俳句は「朝日俳壇」へ。二重投稿は不可。選者が添削する場合があります。